

## 入庁後の振り返り

朝倉支部 朝倉県土整備事務所 荒巻 颯汰

福岡県庁に入庁して、1年が経とうとしています。これまでの振り返りとして、入庁してから現在に至るまでの出来事や感じたこと等を粗く書き留めたいと思います。

辞令交付式にて、朝倉県土整備事務所への配属を告げられます。朝倉では豪雨災害に伴う災害復旧事業が日々進められていることは知っていました。私は学生時代から朝倉の災害復旧に携わりたいと考えていたため、これから始まる業務への期待と、自分がそこでどんな仕事をしていくのかという緊張と不安を感じました。

翌日、初めて事務所に出勤し、全職員の前で挨拶をしましたが、緊張で何を話したのか覚えていません。そして、災害事業センター災害砂防課の一員となった私は、砂防災害復旧に関わる事業を進めていくことになります。

仕事内容としては主に溪流保全工工事や法面工事の設計書作成および現場管理等を担当しました。工事費は途方もなく高額で、県職員として働くことの責任を強く感じた記憶があります。上司いわく新採の頃から、この規模の工事を持てることは中々無いとのことだったので、入庁早々貴重な経験を積むことができました。事務処理、積算、現場管理等、当然分からないことばかりだったのですが、同じ係員の先輩上司方に親切に教えて頂き、業務を進めていきました。特に苦労したのが現場管理です。工事に対する知識や経験が少ないため、監督員として施工業者に適切な指示ができないことや、指示が遅れてしまうことがありました。経験を積むのには時間がかかりますが、知識は勉強することで身につきます。まずは施工管理や品質管理といった知識を習得し、監督員として自信を持って指示できるようになろうと思います。私の入庁1年目はやることに追われるような毎日でしたが、来年度は計画性を持って業務に取り組みたいと思います。1年間を通して、自分一人で判断できることが増えていることは実感できているため、少しずつではありますが、成長できていると思います。

新採の期間も残り僅かとなりましたが、今後も色々な経験を通し、技術や経験を身につけ、県の土木職員として成長していきたいと思っています。



写真 1.現在着手している土砂撤去工事（北川）